

伊豆大島での住民セミナー

北の山公民館：2014年3月13日

2013年10月の台風26号による元町地区の斜面災害について、被災者であるM様のご尽力により、住民向けの解説セミナーを開催させていただきました。この台風のもたらした大雨により生じた斜面崩壊のメカニズムや今後考慮すべき点等をわかりやすく解説することを心がけると共に、住民の皆様が知りたい情報をできるだけ具体的に提供しようというコンセプトで、お話しをさせていただきました。



テーマ

- ・台風26号による伊豆大島の斜面崩壊（寺嶋）
- ・伊豆大島におけるテフラの表層崩壊 火山噴火史を考慮した豪雨災害ハザードマップ作成に向けて（松四）
- ・豪雨による火山灰斜面の土砂流動化現象 伊豆大島の災害について（王）



質問時間が1時間ほど取られていたので、住民の皆様からは硬軟織り交ぜた様々な質問が出されました。住民の皆様が知りたいと思われている情報を上手く伝え切れたのかどうか不安ではありましたが、できる限り具体的な回答をするように努めました。



当日は、開催時間に合わせたような大雨と強風にもかかわらず、熱心な住民の皆様がお越しになりました。多くの質問も出され、予想以上に盛況でした。逆に、こちらが知らなかった情報、知り得ない情報等を住民の皆様から教えていただいたこともあり、我々のほうもたいへん参考になりました。

通常、災害調査時には、住民の皆様は被災している場合がほとんどであるため、直接話を伺うことができるチャンスが少ないのですが、被災されなかった方も含めて直接ざっくばらんに触れ合えることは、災害研究にとって極めて重要であることを再認識しました。質問がたくさん出るということは、話し手としてもやりがいがあります。

当セミナーについてより詳しくお知りになりたい方は、以下（セミナー開催にご尽力いただいた M 様のブログ）をご覧ください。

<http://kumasshyi.blogspot.jp/>

（文責：寺嶋智巳，写真提供：斜面災害センター 王 功輝）